

④アメリカミンク

アメリカミンク (*Mustela vison*) イタチ科 原産地：北アメリカ

導入経緯：1950年代から毛皮目的の養殖のため導入が始まった。養殖の中心地であった北海道では、養殖個体の逸出により野生化が始まり、1960年代には定着したと考えられる。

生態：水辺の生活を好む。哺乳類、鳥類、甲殻類など様々な生物を捕食する。水鳥に対して特に強い捕食性があるとの指摘がある。

【調査結果概要】

環境省の鳥獣関係統計によると、福島県内では平成 16 年に須賀川市、郡山市において 1 頭ずつ狩猟捕獲の記録がある。その後、平成 17 年に鏡石町高野池、福島市松川町で確認された後、平成 18 年には郡山市田村町、浅川町小貫地区でも確認されている。

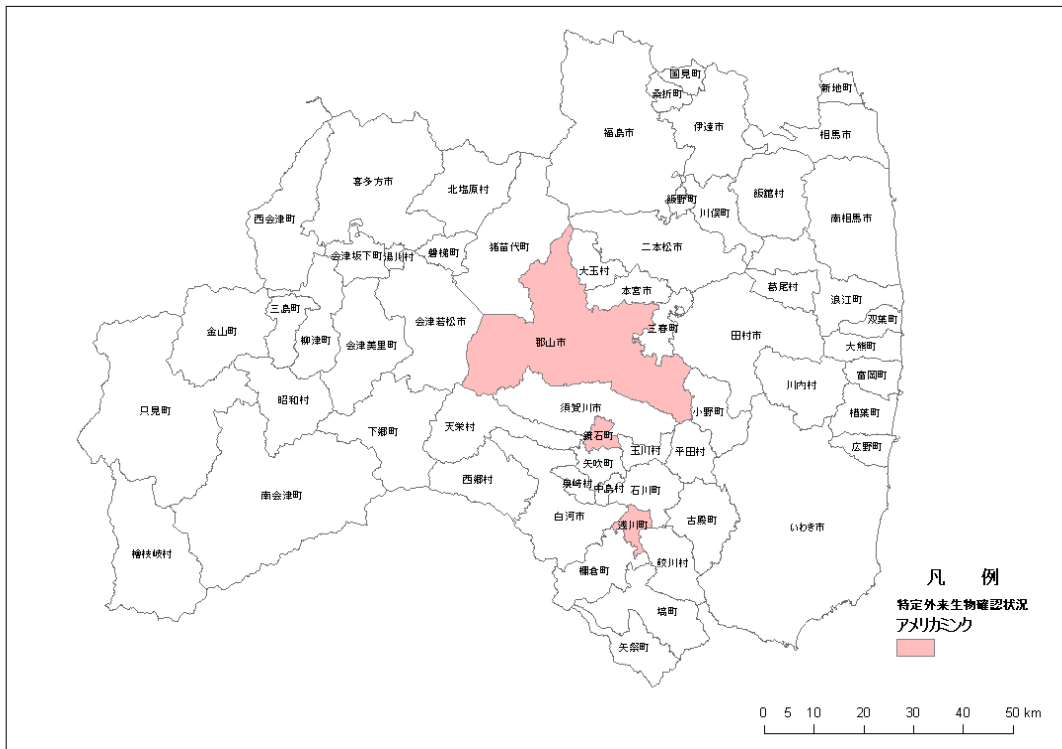
アンケート調査によると、西会津町で 5 年以上前の目撃情報があり、二本松市と郡山市では 3～5 年前に、福島市では 1～2 年前に、浪江町、三春町、本宮市では今年を目撃情報が確認されている。アンケート調査の結果からは、県内における生息範囲はかなり広範であることが伺われる。

本種は肉食、魚食性が強いことから、水産資源への被害の可能性が考えられるが、現在のところ、被害に関する情報は得られていない。



平成18年に郡山市田村町にて確認されたアメリカミンク
(日本野鳥の会郡山支部：佐久間長夫氏 撮影)

文献調査によりアメリカミンクが確認された市町村



アンケート調査によりアメリカミンクが確認された市町村

